

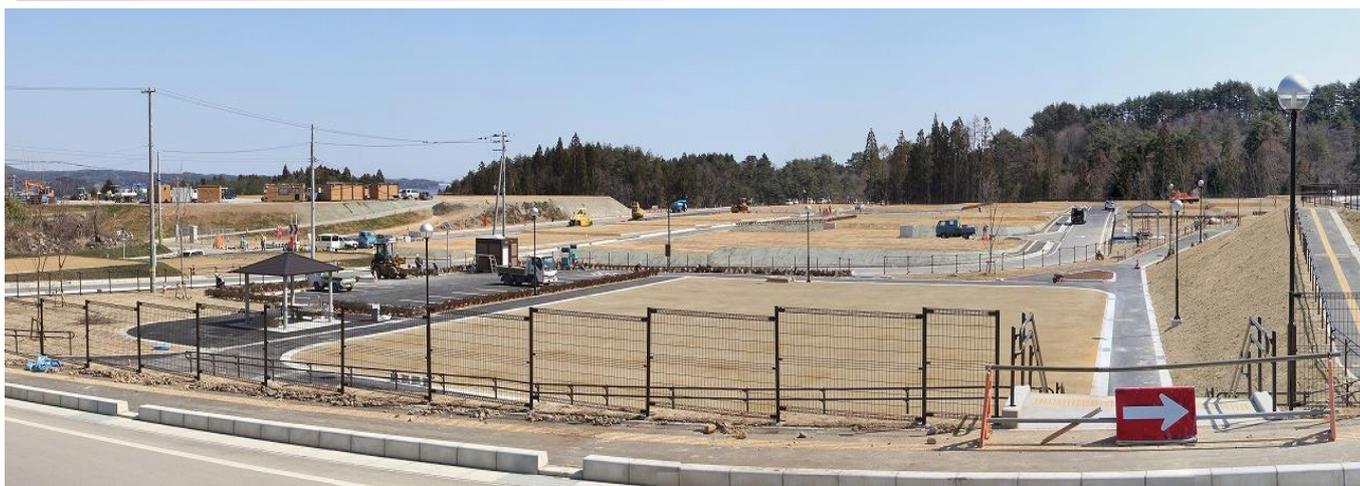
南三陸 復興まちづくり通信

第22号 (平成28年4月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



戸倉団地 84 区画造成終える 5 月末～6 月上旬に引き渡しの見込み

戸倉地区で整備が進められていた防災集団移転戸倉団地の造成工事が完了しました。現在は、5月末から6月上旬の引き渡しを目指し、確定測量など

(戸倉防集団地の全景＝公営住宅の敷地から撮影)の作業が行われています。志津川湾を望む高台に造成された同団地には宅地 84 区画が整備されました。町営戸倉復興住宅に隣接しており、近隣には昨年 10 月に新築開校した戸倉小学校や、今月オープンした戸倉保育所や子育て支援施設などがあります。

教訓伝える大切さ訴える

志津川ホテル観洋を会場に 3 月 21 日、「全国被災地語り部シンポジウム」が開催され、全国からおよそ 250 人が出席しました。民俗研究家の結城登美雄さんが基調講演を行ったほか、3 つの分科会に分かれてワークショップや討議が行われました。「これからの語り部」をテーマにしたパネルディスカッションには、復興みなさん会の後藤一磨代表がパネラーの一人として登壇しました。



防集中学校上団地 坪およそ 4 万円

伊里前地区高台移転の 2 団地で価格説明会が開かれ、分譲価格と借地料が決定しました。中学校上

団地は分譲価格が 330m²当たり 379 万 5 千円～399 万 3 千円、借地料は月額 3,000 円～3,200 円。柘沢団地は分譲価格が 339 万 9 千円～359 万 7 千円、借地料が月額 2,700 円～2,900 円です。

シェフ 17 人が本格フレンチで励ます 地元の魚介で「南三陸フイヤベース」

フランス料理のシェフらでつくる一般社団法人日本エスコフィエ協会のメンバーが 3 月 20 日、歌津地区の「町営名足復興住宅」で、地元の魚介や野菜をふんだんに使った「南三陸フイヤベース」を作り、入居者らをもてなしました。被災者を料理で元気づけようと、日本最高峰に立つフランス料理長たち 17 人が、本格フレンチに腕を振るい、住民およそ 120 人がプロの料理人が作った美食を味わいました。



(名足復興公営住宅集会所でのイベントの様子)



(お茶会の様子=志高仮設集会所)

志津川高校仮設で「椿のお茶会」開催

志津川高校仮設住宅の集会所で 3 月 14 日、復興みなさん会主催の「椿のお茶会」が開かれ、入居者 12 人が参加しました。懐かしいバナナ菓子をお茶うけに椿茶を飲みながら、愉快的な語らいのひと時を過ごしました。この日は、自治会長の後藤一美さんから美味しいスイーツの差し入れもありました。復興みなさん会で発行している「復興まちづくり通信」のほか、引っ越し準備について解説した当会オリジナルの「引越しお役立ちパンフレット」をお配りし、好評を得ました。

「椿のお茶会&ふるさと巡りツアー」開催

復興みなさん会が主催する「椿のお茶会&ふるさと巡りツアー」が 3 月 28 日、町内で行われ、南方仮設住宅に暮らす住民など 20 人が参加しました。バスで町内入りした参加者たちは、復興みなさん会のメンバーの案内で、戸倉と志津川地区の復興状況を見学したほか、雲南神社近くの八幡川で椿の花流しをして震災の犠牲者の霊を慰めました。昼食時には、入谷ひころの里に移動し、「ばっかり茶家」で会食しながら和やかに交流しました。



(ひころの里「松笠屋敷」をバックに記念撮影する参加者)

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山 26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

大阪コミュニティ財団「東日本大震災及び原発災害からの復旧・復興活動等支援基金」助成事業